



参考：「土砂災害」について

「土砂災害」とは

土砂災害は、主に「土石流」「地すべり」「がけ崩れ」の3つの現象が発生して起こる災害です。日本は平地が少なく脆弱な土質であること、梅雨や台風時の大雨が多いことなどから土砂災害が発生しやすい環境にあります。

【土石流】

山の斜面などが崩れ、土砂が雨水や川の水と一緒に流れてくる現象



令和6年7月発生
酒田市北青沢（土石流）

【地すべり】

斜面の一部または全部が、ゆっくり下方に移動する現象



令和6年7月発生
大蔵村南山（地すべり）

【がけ崩れ】

急な斜面（がけ）が雨水や地震などで、急に崩れ落ちる現象



令和6年7月発生
鮭川村川口（がけ崩れ）

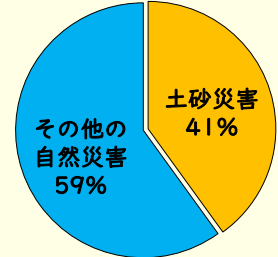
「土砂災害」の特徴

土砂災害は、局所的・突発的に被害が発生し、土砂が高速で移動するため家屋の破壊が生じ、人的被害が発生しやすい特徴があります。

また、避難行動に関しては、目視による確認が困難であるため危険性を認識しにくく、精度の高い発生予測が困難であるという特徴があります。

そのため、自然災害による死者・行方不明者のうち、土砂災害の占める割合は4割を超えており、自然災害の中で最も多くなっています。

自然災害による死者・行方不明者の割合



S42年～H25年の平均（国交省調べ）

土砂災害警戒区域及び災害発生件数

土砂災害警戒区域は、全国に70万箇所以上存在し、山形県においては34市町村（三川町を除く）に5,222箇所存在します。

また、土砂災害は毎年全国各地で発生しており、山形県においても年間平均約20件発生しています。

※土砂災害は身近なところに潜んでいます！※

	土砂災害警戒区域（R07.03月末）			
	土石流	地すべり	がけ崩れ	合計
山形県	2,200	757	2,265	5,222
全 国	219,868	16,388	466,014	702,270

	土砂災害発生件数				
	R02	R03	R04	R05	R06
山形県	40	3	6	1	49
全 国	1,319	972	795	1,471	1,433

「土砂災害」防止の取組み

山形県では、土砂災害から県民の生命・財産を守るため、ハード・ソフトの両面から総合的な土砂災害対策の取組みを実施しています。

<ハード対策の取組み>

土石流を防止する「砂防堰堤」やがけ崩れを防止する「擁壁」などの砂防設備を設置しています。



砂防堰堤



擁 壁

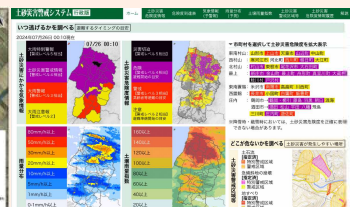
<ソフト対策の取組み>

土砂災害警戒区域の周知、ハザードマップ作成支援、防災情報の提供など警戒避難体制の整備を図っています。

また、**学習支援**をはじめ、土砂災害に関する各種の啓発活動も実施しています。



土砂災害ハザードマップ



ホームページによる防災情報提供
（山形県土砂災害警戒システム）

「土砂災害」に関する学習支援内容

動画学習



土砂災害の概要（土石流・地すべり・がけ崩れ）

土砂災害から
命を守るために

ハード・ソフト対策

どうやって
土砂災害を
防いでいるの？

① 土石流 ② 地すべり ③ がけ崩れ

命を
守るための
方法！

動画の内容は、実際に発生した土砂災害の映像やがけ崩れの仕組みなどをわかりやすく解説した内容となっています。

時間：10～15分

動画は、県から無償で貸し出しを行っています。授業中に放映するなどご活用ください。

教材学習



副読本やオリジナル教材などを用いて、土砂災害とはどのような現象か、また、どのようにして土砂災害を防止しているかなどを学習してもらいます。

時間：10～20分

副読本は、県から無償で提供いたします。（ただし、数に限りがあります。）教科書等の補足資料としてご活用ください。

模型学習



土砂災害（土石流、がけ崩れ、地すべり）の模型を操作してもらい、土砂災害の現象と土砂災害対策施設の役割を学習してもらいます。

時間：5分×3種類

【出前授業】

県担当者が学校や現場に伺い、説明させていただきます。授業や夏休みなどに1～2時間で学習します。

※先生方のご希望に合わせて対応させていただきます。

避難訓練



土砂災害警戒区域や学校の構造等から、どこに逃げれば良いか計画を立て、訓練を実施します。

時間：10～20分

<裏面参照>

出前授業の実施状況
(山形市立滝山小学校)

【学習支援をご希望される先生方へ】

こんなときでも、気軽にお問い合わせください。

◎今年度は学校行事も授業計画も決まっている（終わった）ので実施は難しい…
→次年度の学校行事や授業計画を立案される時期（3学期）に、ご希望の学習内容や実施時期等についてご相談ください。

◎授業の準備など負担とならないか…

→出来る限り学校や先生方の負担とならないよう、時間調整や準備など対応させていただきます。

<問い合わせ先>

山形県 県土整備部
砂防・災害対策課 砂防企画担当
TEL：023-630-2225
FAX：023-625-3866



出前授業の実施状況（山形市立滝山小学校）

令和5年12月6日（水）、山形市立滝山小学校の全校児童648人及び保護者を対象とした、土砂災害に関する出前授業を開催しました。滝山小学校は土石流の土砂災害警戒区域「岩波沢2」内に校舎が掛かっており、土砂災害からの避難訓練（引渡し訓練）も併せて実施しました。出前授業では、県職員が講師を務め、土砂災害の危険性や対策施設の役割について説明しました。

また、令和6年10月25日（金）には、2年生児童98名を対象として、校外学習において砂防対策施設の説明を行いました。

◎動画学習：10分

過去に発生した土砂災害や避難の大切さについて、動画で学習を行いました。



動画学習の様子



教材学習の様子

◎模型学習：5分×3種類＝15分

土石流、がけ崩れ、地すべりの模型を使用し、発生メカニズムや対策施設の役割を学習しました。



模型学習の様子



避難訓練の様子

◎教材学習：15分

学校に合わせたオリジナル教材などを用いて、土砂災害とはどのような現象か、どのようにして土砂災害を防止しているかなどを学習しました。

◎避難訓練：20分

土石流が発生のおそれが高まった想定で、避難訓練（引渡し訓練）を実施しました。

◎対策施設見学

砂防堰堤や擁壁などの対策施設を見学し、施設の役割などを学習しました。



対策施設見学の様子



対策施設見学の様子

※児童からの感想※

- ・家族とハザードマップを確認して避難場所を決めておきたい。
- ・土砂災害がおこりやすい地区だから出前授業の内容を忘れないようにしたい。

参考：土砂災害のおそれのある区域内に立地する小・中学校

令和7年4月22日現在

市町村	小・中学校	想定される土砂災害	
		種別	区域名称
山形市	山寺小・中学校	土石流	芦沢川
		土石流	小高次沢
	滝山小学校	土石流	岩波沢2
	蔵王第一小学校	土石流	鳴沢川-1
		土石流	鳴沢川-2
上山市	上山小学校	がけ崩れ	元城内
		土石流	鶴脛町
天童市	津山小学校	土石流	金毘羅沢
山辺町	相模小学校	土石流	山辺南沢2
中山町	豊田小学校	土石流	月山沢
		土石流	諏訪沢
		土石流	諏訪沢
寒河江市	醍醐小学校	がけ崩れ	慈恩寺1
	白岩小学校	がけ崩れ	白岩
河北町	谷地西部小学校	土石流	シノ子沢
朝日町	西五百川小学校	がけ崩れ	イシウ1

市町村	小・中学校	想定される土砂災害	
		種別	区域名称
村山市	富本小学校	地すべり	湯野沢-2
	桶岡小学校	がけ崩れ	北桶-1
	戸沢小学校	急傾斜	長善寺-1
尾花沢市	常盤小学校	急傾斜	延沢-4
新庄市	本合海小学校	地すべり	八幡
金山町	金山小学校	がけ崩れ	上河原
最上町	最上中学校	土石流	飛鳥沢
舟形町	舟形中学校	土石流	小田山沢
		地すべり	木友山-1
		地すべり	木友山-2
大蔵村	大蔵中学校	がけ崩れ	ウド山-1
		がけ崩れ	ウド山-2
南陽市	漆山小学校	土石流	羽付沢2
長井市	西根小学校	土石流	小三郎沢
		土石流	久川
白鷹町	白鷹中学校	がけ崩れ	八幡

市町村	小・中学校	想定される土砂災害	
		種別	区域名称
鶴岡市	あつみ小学校	がけ崩れ	学校裏
	鼠ヶ関小学校	土石流	裏沢川
		がけ崩れ	横路2
	黄金小学校	土石流	北内1
		土石流	北内2
		土石流	山ノ内1-1
		土石流	山ノ内1-2
		土石流	山ノ内2
		がけ崩れ	黄金
		地すべり	高坂-1
		土石流	横町2
	豊浦中学校	土石流	横町3
		がけ崩れ	横町
		がけ崩れ	横町5
	温海中学校	土石流	横の代4
		土石流	横の代5